

Yashio Gesuido 2024

特集

雨水利用

雨水を溜めてエコ生活はじめませんか？

TOPIC

- 雨水のある家づくり ポラスグループ設計者に伺う
- 老舗タンク会社にインタビュー
- 設置してよかった！ 雨水を使う市民の声
- どんな感じ？雨水タンク 下水道施設に設置しました

表紙／八潮PR大使「あかみみおんがく」さん（続き4p）

雨水のある家づくり

ポラスグループ設計者に伺う



今年完成した大曽根の分譲住宅



全棟に標準で設置した雨水タンク



雨水利用イメージ



雨水利用イメージ



企画を担当した小林さん(右)

「小さい子は、水遊びが好きですよ。雨水は水道料金を気にせず使えます」そう話すのは、ポラスグループの佐野さんと小林さん。同社は、越谷市に本社を置く総合住宅メーカーで、子育て世代に寄り添った設計を心がけている。

「**植栽の水やりや打ち水のため、雨水タンクを設置しました**」敷地内には、広い芝生の庭がある。洗出し風の土間仕上げは、水に濡れると綺麗に見える。雨水タンクが、定期的な水やりを後押しする。「ポタジェという小さい家庭菜園スペースも増えています。お子様の学びの場や楽しむ場になります」南川崎の分譲住宅でも、雨水タンクとポタジェを設置した。ここから、様々なコミュニケーションがはじまる。雨水のある家が、家族の絆を深めているようだ。

一番に考えたのは安全性

雨水タンクは120リットルの既製品で、重さと安定感があるものを設置した。土台は土間コンクリートで、万が一亀裂が生じても住宅側に影響が出ないように、建物の基礎とは切り離している。

使うシーンをイメージ

植栽との距離や人が入れるスペースも重要だ。雨水タンクは、雨どいに接続して使用するため、使い勝手と集水しやすい場所のバランスを検討し設置した。

【取材協力・写真提供】

ポラスグループ 株式会社中央住宅
企画設計課 課長 佐野さん
係長 小林さん

老舗タンク会社に インタビュー

【取材協力】

サンエービルドシステム株式会社
代表取締役 前田さん

約30年前、環境問題に着目し、雨水タンク「ミニダム」を開発。現在も改良が続くロングセラー商品。



会社で展示しているミニダム

Q 雨水貯留の魅力は――

自前の水源になること。水源が複数あることで、水の使い方を分別できます。会社にも大きなタンクがあり、トイレや庭の水やりは雨水を利用。水道水は必要な所だけ使っています。災害の備えにも有効です。

Q タンク選びのポイントは――

溜めた雨水の水質を保つために、遮光性が高いものが良いです。ミニダムの場合、本体はポリエチレン製で、雨が降るたびに古い雨水が排出される循環システムが付いています。

Q 今後の展望は――

雨水タンクは取り掛かりのツールで、雨水を溜めることが生活に溶け込んでいくことを目指しています。



グッドデザイン賞を受賞した雨水タンク



傾斜地のためコンクリートで土台を自作



タンクを覗く市民Aさんと市職員



たっぷり溜まった雨水



雨水タンクを連結して使用



雨水を利用する市民Bさん



設置してよかった!

雨水を使う市民の声



市民Aさん

「簡易的なタンクを付ける値段で、
ちゃんとしたものを付けることができた」

「強い雨だと数時間で満タンになります。思っていたより早い
です」150リットルの雨水タンクを2基設置した市民Aさん。雨
水タンクをインターネットで検索していたところ、自治体によ
って補助金が出ることを知った。

「掃除のしやすさで、タンクを選びました」砂ぼこりが入るな
ど、汚れやすいことを調べていたため、上蓋が外れるタイプを
選んだ。害虫の発生を尋ねると、一度だけタンク内に虫が浮か
んでいたとのこと。対策として、集水部にフィルターの設置を
検討している。

「普段の使い方は、ゴミ置き場や駐車場の清掃です」実は、A
さんの家には植栽がなく、利用頻度はあまり多くはない。それ
でも「安心感を得たこと」がメリットだという。「近所の人にも
注目されていて、断水した時は水がもらえると思われている。
雨水タンクが、もっと多くの人に広まってほしい」と笑顔
で話した。



市民Bさん

「雨が降るのが楽しみになった」

広報やしおで、雨水タンク補助金の補助率が上がることを知
った市民Bさん。設置場所に合ったサイズやデザインを考え、イ
ンターネットで購入した。Bさんの利用頻度は高く、お子さん
と外で遊ぶときや、アウトドア用品の手入れ、家庭菜園などで
毎日利用している。今のところ、害虫の発生や困ったこともな
い。「家の周りに水場が増えたので便利です。ベランダにも欲
しい」と、ほほ笑む。



POINT!!

雨水タンク
ここが良い◎

- 気軽に水が使える環境にもやさしい。
- 水道が遠い場所に水場を作る。
- 断水した時の安心感がある。
- 浸水被害の軽減につながる。



八潮市の補助金

- 設置費用の3分の2(限度額3万円)を補助。
(浄化槽を転用した場合は一律8万円)

Check

今年度は補助率が上がりました。

年度毎の予算に限りがあります。
雨水タンク購入前に下水道課へご相談ください。



補助金のご案内



どんな感じ?
雨水タンク

下水道施設に設置しました!



80ℓの家庭用雨水タンク



雨水で打ち水する市職員

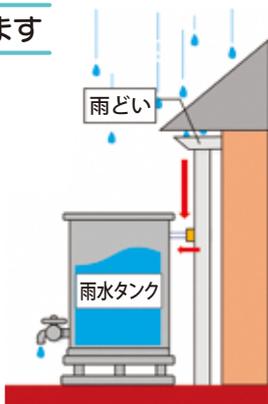


勢いよく雨水が出る

「補助金が出るのはいいですね」設置した雨水タンクを見る八潮PR大使「あかみみおんがく」さん。「屋根が大きいので、雨が降るとすぐ満水になりました」という職員の説明を興味深く聞いていました。

雨水タンクはDIY(自分自身)で設置できます

- ① 設置場所を選定し、タンクが水平に置けるように土台をつくる。
- ② 雨どいの一部を切断し、雨水タンクに付属している集水装置を取り付ける。
- ③ 雨水タンクを設置し、集水装置とホースでつなぐ。



気をつけること

- 雨水タンクと付属品(ホースなど)が別売りの場合があります。
- 雨どいの形状により、付属品で施工できない場合があります。
- 溜まった雨水は早めに使い切り、必要に応じて清掃をしましょう。
- 溜まった雨水は、そのまま飲み水にできません。



【撮影協力】

あかみみおんがくさん

(公式ブログ)

八潮市PR大使。八潮市音楽大使。八潮市文化協会など市内団体に所属。少年少女合唱団「あかみみうたう!! DAN」、八潮幼稚園「あかみみ合唱隊」のほか、(一社)全日本児童音楽協会会長の塚本一実氏より顧問を受けて活動中。

市役所で同型タンクを展示中

今回設置した雨水タンクを、市役所3階下水道課前で展示しています。設置をご検討されている方は、ぜひお立ち寄りください。
※イベント等により、展示場所が変わる場合があります。



なぜ雨水タンク?

雨水タンクなどが増えると、排水施設に雨水が集まるタイミングを分散できます。多くの家に雨水タンクが普及することで、ゲリラ豪雨など短時間の雨による浸水被害を軽減できます。

9月10日は下水道の日 スマホで「下水道」を検索しよう!

再生紙使用(古紙パルプ配合率 60%)
ベジタブルオイルインク使用



やしお下水道だより 2024年号 令和6年9月 発行
発行・編集/八潮市下水道課
〒340-8588 八潮市中央1-2-1 電話 048-996-2111(代)